

令和8年度全国教職員剣道大会岩手県予選会実施要項

1 主催 岩手県学校剣道連盟

2 期日 令和8年6月7日(日)
受付8:30～ 学校剣道連盟総会9:00 予選会9:30～(予定)

3 会場 岩手県立南昌みらい高等学校武道場
〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅9-1-1

4 参加資格

現在、各都道府県学校剣道連盟に在籍する教職員で、次の事項に該当すること。

- (1) 幼・小・中・高・特別支援学校の教員とし、非常勤講師(年間任用者で授業を担当している者)、および常勤の事務職員とする。
- (2) 大学・高専の在籍は、助手・助教・講師・准教授・教授で、常勤している者。
および常勤の事務職員とする。
- (3) 教育委員会の在籍は、教員身分の指導員・指導主事・その他の教職員の身分を有し、常勤している者。
- (4) 段位などの制限は設けない。
- (5) 監督は大将を兼ねてもよい。

5 選手団の構成

(1) 団体試合

- ア) 各都道府県1チームとし、構成は監督1名(大将との兼任可)・選手5名の計5名、もしくは6名とする。(帯同審判員1名(7段以上)。その場合諸会議に参加するものとする。)
- イ) 選手の構成は『幼・小・中』から1名、『高校・高専・大学・教委』から1名、他の3名はいずれから出場してもよい。
- ウ) 大将は55歳以上、副将は45歳以上とする。(大会前日の満年齢)

(2) 個人試合

- ア) 各都道府県とも、『男子の部』『女子の部』のそれぞれに1名が出場できる。
- イ) 開催都道府県は個人戦各部において、それぞれ2名出場できる。
- ウ) 選手は団体試合出場者以外の者を主体とするが、やむを得ない場合のみ団体試合出場者と兼ねることができる。
- エ) 男女とも年齢制限は設けない。

6 試合方法

試合は(公財)全日本剣道連盟『剣道試合・審判規則及び細則』によって行う。

7 試合時間

- (1) 4分3本勝負。
- (2) リーグ戦の場合は3分の延長を1度行い、決しない場合は引き分けとする。
- (3) 勝敗を決する必要がある場合は3分の延長を決するまで繰り返し行う。

8 選手の決定方法

(1) 試合はリーグ・トーナメント方式を基本とするが、参加人数により臨機応変に対応する。

(2) リーグ戦が複数に及ぶ場合は、各リーグ上位2名によるトーナメント戦を実施する。

(3) 先鋒、次鋒、中堅の部

リーグ・トーナメント戦の上位3名とする

(4) 副将の部(45歳～54歳)、大将の部(55歳以上)、女子個人戦

リーグ・トーナメント方式で実施するが、参加人数によってはトーナメント戦のみで実施する。

(5) 大将・副将の部に参加した選手であっても(3)のリーグ・トーナメント戦に参加することも可能である。

(6) 男子個人戦

原則として団体戦の選手とは別枠とし、(3)のリーグ・トーナメント戦における4位の選手を選出する。ただし、遠方で開催される場合に限り、団体戦の選手が個人戦を兼ねるものとし、(3)のリーグ・トーナメント戦の1位の選手を充てる。なお、選手選考にあたっては上位者の希望も考慮した上で、最終的な団体戦・個人戦の登録選手を決定する。

(7) リーグ戦の順位について

勝者に2ポイント、引き分け者に1ポイントずつ与え、合計点の多い選手を代表選手とする。同点の場合は一本勝負により決定する。

(8) 試合順

(原則) 大将→副将→中堅・次鋒・先鋒→女子

9 申込みについて

大会当日の受付時に申込みを行う。(事前の申込みは行わない。)

10 その他

予選会参加者は、けが等に十分注意し参加すること。

負傷等の場合は自己責任とするので、傷害保険等各自で加入すること。

感染対策を十分に行った上、参加すること。

なお、当日学校剣道連盟会費(3,000円)を支払われる場合は、受付にてご提示ください。